



日本医療機能評価機構  
認定病院

やさしさとふれあい健康プラザ

# すみれ

## インフォメーション

一般財団法人 札幌同交会病院

夏号  
2026.7  
Vol.52

### 理念

私たちは、人にやさしく、  
思いやりのある温かい心で、  
地域に根ざした信頼される病院を目指します

### 基本方針

- 一、患者様と医療者のパートナーシップを尊重し、皆様の健康と生命を守ります。
- 一、医療の安全を確立し、医療サービスに徹し、皆様に安心と満足をお届けします。
- 一、職員はたゆまぬ研鑽を重ね、研修・技術の向上、医療水準の向上に努めます。
- 一、経営健全化のため効率的運営をはかります。
- 一、地域の医療機関、施設との連携を強化し、地域完結型の医療を目指します。
- 一、高齢者と障害者に配慮した医療を実践します。

【写真提供】

札幌同交会病院 評議員／日本光画会 会員

伊藤 忠 様

S U M I R E I N F O R M A T I O N

## 一年後のごあいさつ

看護統括部長 岡井 美香



皆さま、こんにちは。昨年5月に看護部統括部長を拝命してから、早いもので一年が経ちました。この一年間、看護部の活動に温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

就任時に掲げた「あたたかく 優しい看護の提供」という理念を実現するため、看護部ではさまざまな取り組みを進めてまいりました。まず、教育体制の充実として、今年度より研修に動画教材を導入しました。新人看護師だけでなく、中堅職員のスキルアップにも活用できるよう内容を整備し、いつでも自分の都合に合わせて学べる環境を整えたことで、一人ひとりのキャリア形成をより力強く支援できる体制が整いました。

委員会活動も活発化し、接遇委員会では毎月月初めの一週間を「挨拶強化週間」と定め、委員がテーマに沿ったポスターを作成し、率先して明るい挨拶や声掛けを行う取り組みを始めました（今月のテーマは「まず自分から挨拶」です）。また、医療安全管理委員会では、今月より院内安全ニュースの発行を開始しました。こうした小さな取り組みの積み重ねが、病院全体の良い雰囲気づくりにつながると感じています。

さらに、職員が安心して働き続けられる職場づくりにも力を入れ、意見交換の場の拡充や勤務環境の見直しを継続して行っています。看護部の仲間が「ここで働きたい」と思える環境は、患者さんへのより良い看護につながると確信しています。

令和8年度の看護部目標として、次の2点を重点的に掲げました。

- I. 人材育成体制を再構築し、働きつづけられる職場づくり
  - ・クリニカルラダーを活用した体系的な育成
  - ・学研ナースングサポートによる学習環境の強化
  - ・協力し合い、コミュニケーションを取りやすい職場風土の醸成
- II. 多職種と連携し、入退院支援の強化と在院日数の適正化
  - ・医師・多職種とのカンファレンスの充実
  - ・地域包括ケアシステムの教育と周知の推進



これらの目標を軸に、看護部全体で質の高い看護の提供と、働きやすい職場づくりをさらに推進してまいります。地域の皆さまに愛され、頼りにされる病院であり続けるために、看護部一同、力を合わせて邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



副院長 高橋 裕樹

皆様、はじめまして。2026年4月から当院副院長として着任しました高橋裕樹です。

私は1985年に札幌医科大学を卒業し、当時、循環器・呼吸器以外を網羅する内科であった第一内科に入局しました。米国留学を含む研究生生活と関連病院での診療を経て1994年から第一内科の膠原病グループを担当していました。その後、2017年から札幌医大に新しくできた免疫・リウマチ内科の教授に就任し、診療と学生教育、研究を行ってきました。2026年3月に定年退職後も、大学病院で診療していた患者さんを含め、膠原病の診療を中心にさせて頂きたく、当院に籍を設けてもらいました。

膠原病とは免疫異常を基盤に、関節や皮膚、内臓に慢性炎症が持続する疾患の総称で、最も頻度が高いのは関節リウマチです。以前は内科医が最も逃げ出したい病気と言われていた関節リウマチですが、21世紀に入り、治療薬が革新的に進歩し、コントロールが随分容易となりました。しかし、両刃の剣と言われるように、切れ味のよい薬剤はその分、副作用にも注意が必要であり、特に高齢化が進む中で併存症の多い患者さんへの診療はバランスが難しく、昨今、最も課題とされているところです。また、背景に炎症と免疫異常があるので、ステロイドを使用する機会が多く、必然的に感染症や糖尿病なども生じやすい疾患でもあります。私のこれまでの経験を活かしてちょうど良いバランスの治療を提供し、患者さんに満足してもらえるよう努めたいと思っています。

当院には今回が初めての就職ですが、学生時代には当時所属していた卓球部のOBの先生が勤務されていたので、カンパを頂きに訪問して以来のお付き合いで、特に2000年代から週1回リウマチ外来をひらかせてもらっていました。今後は外来診療の出番が増えたこともあり、診察もゆっくり、より丁寧に行うよう努めたいと思っています。もちろん、整形外科や眼科など、複数の診療科とも協力しながら診療にあたらなければならない疾患ですので、患者さんへの情報提供と札幌医大病院を含め連携を密にしていきたいと思っています。

何卒、よろしくお願い致します。

## 新入職 スタッフ紹介

①所属部署 ②趣味・特技 ③一言挨拶



盛 丹理

- ①看護部 外来科
- ②YouTube視聴
- ③外来業務は初めてですが、1日でも早く業務に慣れるように頑張ります。よろしくお願い致します。



廣瀬 初音

- ①看護部 4階病棟
- ②動画鑑賞、歌うこと
- ③5月より入職しました。  
1年のブランクがありますが、復職後こちらの病院で、皆様と共に地域の一員として頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



## 創立70周年を迎えて

地域の皆様の温かいご支援に支えられまして、札幌同交会病院は本年7月10日、創立70周年を迎えることができました。

1956年(昭和31年)、27床の病院としてこの地に開院して以来、時代の変化とともに医療の在り方も大きく変わってまいりましたが、私たちは一貫して地域に根ざした医療を大切に歩みを進めてきました。

これまでの歩みを支えてくださった患者様やご家族の皆様、地域の医療・福祉関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

### 当院の理念

「人にやさしく、思いやりのある温かい心で、地域に根差した信頼される病院を目指します」この理念は、70年という節目を迎えた今もなお、私たちの原点であり、これからも大切に受け継いでいく指針です。

これからも札幌同交会病院は、地域の皆様が安心して受診できる身近な医療機関として、医療の質の向上と心の通った対応に努めてまいります。

次の10年、その先の未来へと歩みをつなげていけるよう、職員一同、より一層精進してまいります。

### 【70年という節目に】

70周年という節目を迎え、これまでの歩みを振り返るとともに、地域の皆様に支えられてきた歴史の重みを改めて感じております。

この節目を新たな出発点とし、これからも地域に根ざした医療の提供に努めてまいります。

## 写真で振り返る 札幌同交会病院の70年



開院当初の様子(昭和31年)



改築(南棟完成)し開院(昭和43年11月)



増改築により病院機能を拡充(昭和54年1月)



現在の札幌同交会病院

### 70年の歩み

- ・1956年(昭和31年) 7月 同交会病院開院(27床)
- ・1960年(昭和35年) 増改築により55床へ
- ・1968年(昭和43年) 全面改築、102床へ拡大
- ・1979年(昭和54年) 増改築により215床体制へ
- ・1998年(平成10年) 療養型病棟導入、医療体制の転換
- ・2006年(平成18年) 開院50周年、病院機能評価認定
- ・2014年(平成26年) 一般財団法人へ移行、現在の名称へ
- ・2020年(令和2年) 理事長・院長体制の変更

### 70年の歩みを未来へ

開院以来、当院は地域とともに歩みながら、その時代に求められる医療を提供してまいりました。医療を取り巻く環境が変化する中であっても、これまでの歴史を礎に、これからも地域に信頼される医療を提供し続けてまいります。

# 医局の よもやま話

## ミシガン滞在記〈第6回〉令和8年夏

診療部長 菅野 伸一

### ミシガンのおとなりはカナダ、そしてナイアガラの滝は車でいける。

五大湖…それは北米大陸東部に広がる、スベリオル湖、ミシガン湖、ヒューロン湖、エリー湖、オンタリオ湖の5つの巨大な湖の総称です。世界最大の淡水湖であるスベリオル湖を筆頭に、その広さはまるで海のように。セントローレンス川を通じて大西洋へとつながっており、中学地理で覚えさせられた人も多いでしょう。

ミシガン州はオンタリオ湖を除く4つの湖に接しており、州民の五大湖への愛着は並々ならぬものがあります。最大の都市であるデトロイトはヒューロン湖とエリー湖を結ぶ川（その名もデトロイト川）のほとりにあります。川の向こう側に見えるはカナダであり、デトロイトから橋やトンネルを渡れば、国境を越えることができます。そのためミシガン州民にとってカナダは非常に身近な存在であり、気軽な海外旅行先でもあります。

そのカナダ観光の目玉が世界三大瀑布の一つ、ナイアガラの滝です。エリー湖とオンタリオ湖の間、アメリカとカナダの国境上に位置しています。ナイアガラの滝周辺までは、デトロイトからカナダへ入国して車で約4時間ほどであり、日帰りや週末旅行の行き先として十分現実的な距離です。ただし国境越えには入国審査があるため、混雑状況によっては1～2時間程度かかることも珍しくありません。

一方で、ミシガン州からアメリカ国内だけを通してナイアガラの滝へ向かうことも可能です。ミシガン州からオハイオ州を経由し、ニューヨーク州西部へ向かう（エリー湖をぐるっと回る）ルートで、およそ8時間のドライブになります。「ニューヨーク」と聞くとマンハッタンの高層ビル群を思い浮かべる人が多いでしょう。しかしニューヨーク州そのものは非常に広大で、面積は北海道と九州を合わせたほどもあり、ニューヨーク市は州のその南東端に、ナイアガラの

滝は州の西端に位置しています。

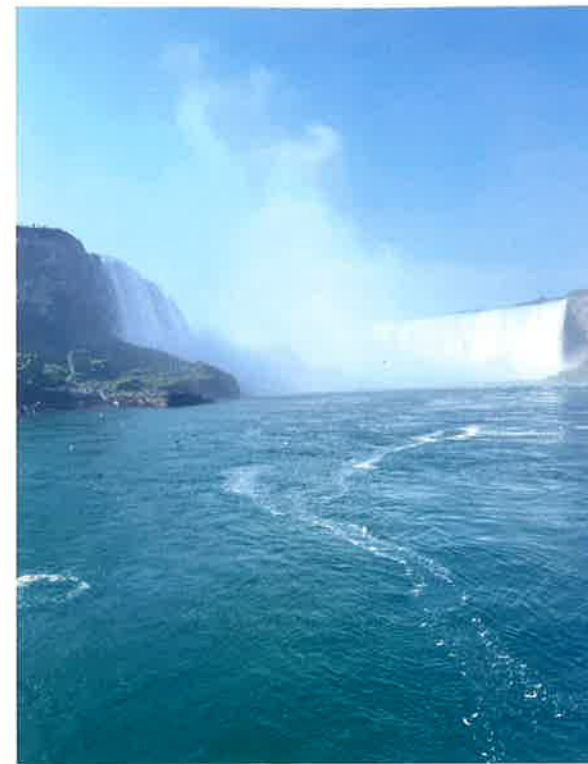
ナイアガラの滝は二条に分かれ「アメリカ滝」と「カナダ滝」として観られます。規模はカナダ滝が圧倒的（約4～5倍）で、観光開発への力の入れ方も両国で大きく異なります。滝を正面から眺められるカナダ側は、ナイアガラ観光の主役です。大型ホテルが立ち並び、ジップラインや遊園地、カジノ、ゲームセンター、土産物店、レストランも大衆向けから高級店まで充実しています。まさにカナダの滝にかかる意気込みが感じられるリゾートです。

一方のアメリカ側は比較的落ち着いた雰囲気、ホテルやカジノが点在する程度。滝から離れると住宅街で少し寂しい雰囲気。しかし、実はアメリカ側にしかない魅力があります。

その代表が「風の洞窟（Cave of the Winds）」です。アメリカ滝の直下近くまで降りることができ（昔は滝の裏側まで行けたそうですが、地形の変化のために現在は手前まで）、轟音を立てて落ちてくる激しい水流と暴風に舞う水しぶきを全身で体感できます。その凄まじさに恐怖を覚え、滝に打たれるなんて考えられないレベルです。



▶左がアメリカ側、右がカナダ側。手前にアメリカ滝、奥にカナダ滝を見る。アメリカ側からは朝日により虹がくっきりと見える。



▶遊覧船に乗りカナダ滝へ

また、アメリカ側は虹を見るには最高の場所でもあります。ナイアガラの滝は膨大な水量によって常に大量の水煙を巻き上げています。快晴の朝、東から差し込む太陽の光がその水煙に当たることで、とても濃く鮮やかな虹が現れます。普通の虹のようにすぐ消えることはなく、まるで空中に固定されたかのようなようです。これはアメリカ側ならではの特権と言えるでしょう。

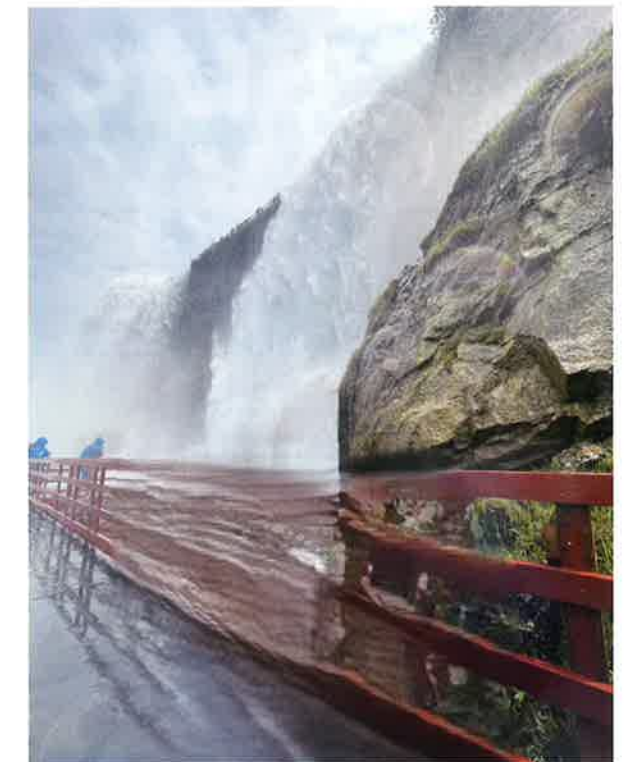
カナダ滝の迫力を間近で体感できるクルーズ船はアメリカ側・カナダ側の両方から運航されています。どちらから乗船しても巨大な滝の真下近くまで接近し、全身ずぶ濡れになりながらその圧倒的なスケールを味わうことができます。最接近時は水しぶきが強烈すぎて、水中ゴーグル無しに滝の真ん中を向いて目をあけることは困難なほどです。

ナイアガラの滝の下流には国境橋が架かっており、車もしくは徒歩で渡ることが可能です。歩いて数分でアメリカとカナダを行き来できるため、気軽に両国のアクティビティを楽しめます。通行料はアメリカからカナダへ渡ることが約1ドル、逆方向は無料です。ただし当然ながら入国審査があり、特にカナダからアメリカへ戻る際は比較的しっかりとした審査を受けることになります。

以上のように、日本では決して味わえない北米大陸の壮さを象徴するランドマークであり、五大湖が生み出す圧倒的な自然の力と観光地としての娯楽を同時に楽しむことができる滝、それがナイアガラなのです。



▶視界いっぱいに広がるカナダ滝。激しい水しぶきで正面視できず、端を撮ることで精一杯。



▶アメリカ滝下への遊歩道「風の洞窟」。滝が巻き起こす爆風と強烈な水しぶきにより、台風を中継するテレビ局のレポーターの気分を味わえます。

## 医師外来診療スケジュール

### 【一般内科外来】

診療時間 午前9:00～12:00 午後13:30～17:00 土曜9:00～12:00

|    |     | 月             | 火   | 水             | 木             | 金   | 土       |         |    |
|----|-----|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------|---------|----|
| 午前 | 1 診 | 伊志嶺           | 菅 野 | 関 谷           | 菅 野           | 菅 野 | 1週目     | 菅野      | 淡川 |
|    |     |               |     |               |               |     | 2週目     | 伊志嶺     | 淡川 |
|    | 2 診 | 淡 川           | 専門医 | 淡 川           | 関 谷           | 関 谷 | 3週目     | 菅野      | 淡川 |
|    |     |               |     |               |               |     | 4週目     | 伊志嶺     | 淡川 |
|    | 3 診 | 竹 中           | 伊志嶺 | 竹 中           | リウマチ外来<br>高 橋 |     | 5週目     | ※菅野・伊志嶺 | 淡川 |
| 午後 | 1 診 | 菅 野           |     | リウマチ外来<br>高 橋 |               | 専門医 | 土曜午後は休診 |         |    |
|    | 2 診 | リウマチ外来<br>高 橋 | 竹 中 | 伊志嶺           | 淡 川           | 淡 川 |         |         |    |

※土曜日第5週は月により医師の診療が変わります。

※火曜日 午前(9:00～12:00)は、北海道医療センター 循環器内科の専門医が診察いたします。

※金曜日 午後(13:30～15:30)は、札幌医科大学附属病院 免疫・リウマチ内科の専門医が診察いたします。

| 月～金 | 午 前 | 受付時間 | 8:45～17:00 | 診療時間 | 9:00～12:00  |
|-----|-----|------|------------|------|-------------|
|     | 午 後 |      |            |      | 13:30～17:00 |
| 土   | 午 前 |      | 8:45～12:00 |      | 9:00～12:00  |

## 一般財団法人 札幌同交会病院

〒060-0062 札幌市中央区南2条西19丁目

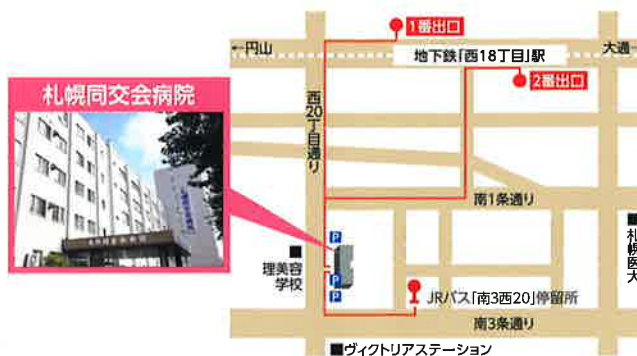
電話 011-611-9131(代)



### 診 療 科 目

内科・消化器内科  
循環器内科・リウマチ科

放射線科・リハビリテーション科



### 【公共交通機関のご案内】

地下鉄 東西線「西18丁目」駅1番・2番出口徒歩5分

JRバス 【西53】啓明線「南3条西20」停留所徒歩2分

<http://www.dohkohkai.or.jp/>

札幌同交会病院

検 索